

令和2年2月の活動報告

冬の里山活動体験(2月16日)

2月16日(日)、鹿背山での里山活動の予定でしたが、雨天のため鹿背山での活動は中止。

代わりに木津川市保健センターで、豚汁とねんどストラップづくりをしました。

参加者はこども14人、保護者3人、スタッフ3人計20人でした。

豚汁は、こどもたちみんなで手分けして材料を切り、テキパキと鍋で煮込み開始できました。

中には昨日ストラップの材料を採りに行った鹿背山で頂いたシイタケも入れました。

豚汁を煮込んでいる間にねんどストラップづくり。

木粉ねんどに、木の葉などを押し付けて模様を作りました。

ねんどが乾くのに時間がかかるので、いったん預かり次回の集まりにニス掛けした形で渡す予定です。

個性豊かな作品ができていたので仕上がりを楽しみにしてくださいね。

豚汁もおいしくできました。



令和元年12月の活動報告

クリスマス工作(12月1日・日曜日)

令和元年 12 月 1 日(日)、当尾の郷会館でクリスマス工作をしました。今回は空箱を使って織り機を作り、ミニマットを織りました。

縦糸を貼る切り込みを作り、縦糸を張りました。低学年の子供たちはお母さんに手伝ってもらいながら。高学年の子供達は自分たちで、みんな上手にできました。

次に、糸を引き上げる装置である'そうこう'作り。

始めは、織物の仕組みがよくわかっていなかった子供も、'そうこう'ができて横糸を縦糸の間に入れてみると、「そっか！」とガッテンした声も。

一段、一段 横糸を入れていくと少しずつですが織物が出来上がっていきます。

「めんどくさい！」という声もありました。

確かに、手織りは一段一段と少しずつしか出来上がっていきません。でも、根気良く続けていくと小さなミニマットが出来上がりました。

最後に、作品を持ってみんなで記念写真を撮りました。

今回は、ちょっと腰を落ち着けての工作になりましたが、こんな体験もありかなと思いました。



令和元年10月の活動報告

秋の里山活動体験(10月27日・日曜日)

10月27日(日)秋の里山活動で鹿背山へ行きました。参加者はこども10人、保護者3人、スタッフ6人計19人でした。

午前は、まず柿畑で刈った草と今年枯れてしまったヤマザクラの枝で焼きいも焼き。焼いている間に果樹園でミカンやリンゴの木に堆肥をまきました。焼いもの他にもツルクビカボチャやリンゴ、マシュマロを焼いてにぎやかなお昼になりました。

午後は、どんぐりの笛作り。どんぐりの中身を、針金を使ってただひたすらにほじくり出す作業ですが、みんな黙々と熱中してほじっていました。きれいに空になったどんぐりを、そのまま瓶を吹いて鳴らす要領で鳴らしたり、ひもを付けてナウシカの虫笛みたいにしてみました。最後は落ち葉を集めて次の堆肥の準備をしました。



令和元年9月の活動報告

壁新聞作り(9月23日・月曜日(祝))

9月23日(月祝)第2回壁新聞づくりを行いました。参加者はこども5人、サポーター4人、事務局1人。洗びん工場見学の写真を工夫してきれいにまとめました。次回までに「プラスチック容器や包装を減らす対策」をそれぞれ考えメモ書きしてくるようになりました。



令和元年9月の活動報告

防災教室(9月8日・日曜日)

9/8(日)市役所で防災士の田中さんにお越し頂き、防災教室を行いました。

参加者は 子供5人、保護者2人、スタッフ5人計 12 人でした。

はじめに震災や災害、避難所のお話、非常持ち出し袋の話を聞かせてもらいました。木津川市役所の入口に記されてある過去の水害での浸水ライン。この場所は4mの深さまで水に浸かったそうです。

少し子供達には難しい話もありましたが、「テレビの向こう側の話」ではなく、災害の怖さをリアルに感じる事ができました。

つぎに、ロープワークを教えて頂きました。

基本の本結びや、巻き結び、もやい結び。シッカリ結べるのに簡単に解く事が出来て子供だけでなく大人も勉強になりました。大人は特に新聞紙の束ね方に興味津々でした。



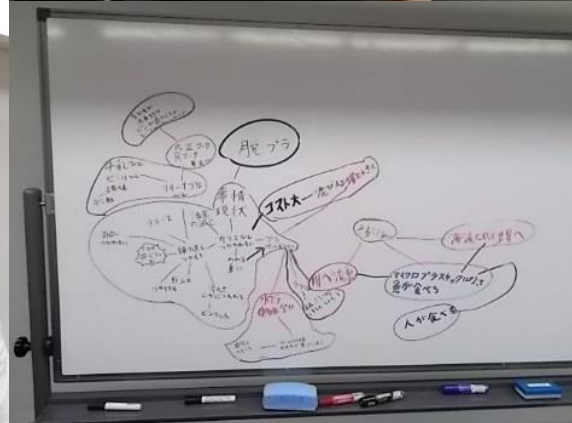
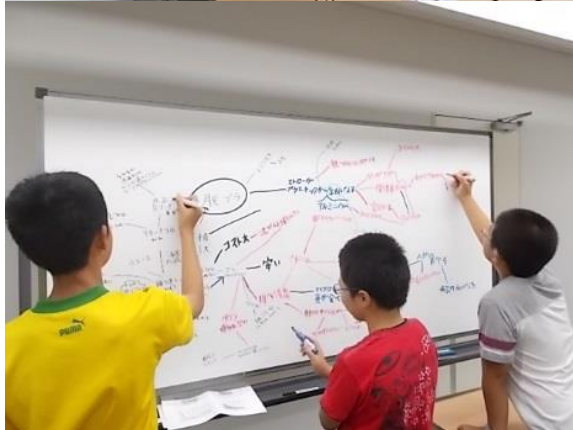
令和元年9月の活動報告

壁新聞作り(9月1日・日曜日)

9/1(日)第1回壁新聞づくりを行いました。参加者はこども3人、サポーターと事務局6人でした。

少人数ながら小6と中1の精鋭メンバーで、前日の洗びん工場見学を中心に新聞をまとめていくことに。

写真の印刷し、記事の構成を決めました。



令和元年8月の活動報告

リユース瓶工場見学(8月9日・金曜日)

リユースびんを洗ビンしている吉川商店さん(伏見区)の工場見学に行ってきました。参加者は子ども9名 大人 11 名(事務局 2 名含む)でした。

バスを降りると、使い終わって集められたビンが入ったP箱の山に出迎えられ、参加者はその高さや量の多さにまずはびっくり。京都の酒所、伏見にある工場ということもあって、ビンのほとんどが、お酒などに使われた一升瓶でした。中には生協で使われているリユースびんもありました。そして、工場内に入ると、使用済みのビンがベルトコンベアで運ばれ、きれいに洗われていく工程を見ることができました。

参加した子どもも大人も興味津々で工場内を見学。写真を撮る人、案内して下さった吉川さんの説明に耳を傾け、メモをとる人の姿もありました。

工場見学のあとは、リユースびん入りの緑茶「とわ」を味わいながら、吉川社長さんに日常の仕事内容、吉川商店の環境への取組や日本のリユースびんの現状について、さらに詳しくお話をいただきました。行きのバス車中では、ペットボトルやびんの3Rについてのクイズも行い、飲み物の入れ物をテーマに環境について考える時間も持ちました。この経験を夏休みの自由研究にまとめる、という子どもメンバーもちらほら。どんな報告になるのか結果が楽しみです。



令和元年8月の活動報告

染色教室(8月4日・日曜日)

令和元年の夏真っ盛りの8月4日(日)の午後、当尾の郷会館で、染色教室を開きました。参加者は子供達7名(保護者3名)でした。

木津川市役所を出発したバスが当尾の郷会館に到着したのは午後1時前。道具類を調理室に運び込み、準備を始めました。玉ねぎの皮、お茶殻の炊き出しを始め、子供達がサポーターさんたちの指導でエコバッグに模様をつけ始めました。輪ゴムと割り箸、ボタンや木のブロック、洗濯バサミ、すのこなどを組み合わせて、バッグに模様をつけていきます。これまでに染めたエコバッグの模様を参考にする子や、全くの新しい発想で模様を作る子(バッグを十字にした割り箸に巻き付けて輪ゴムでぐるぐる巻きにしていました。まるで「わら人形(?)」みたい!)模様づけの準備ができたらいよいよ玉ねぎ、またはお茶殻の染液に浸します。待つこと20分、次に染料を定着させるための媒染液につけます。今回は媒染液として玉ねぎは「ミョウバン」と「鉄」の2種類、お茶殻は「鉄」を用意しました。媒染液によって、色が変わります。玉ねぎの場合、「ミョウバン」は黄色に、「鉄」ではカーキ色(深緑)になります。

各自、好きな方の媒染液につけて再び待つこと20分。一度取り出してみても、ちゃんと染まっているかチェック(水洗いして見ます。)しました。十分、よく染まっているようなので、順に取り出して、模様をつけるのに使った輪ゴムや、割り箸、ボタンなどを外してよく水洗いをしました。

最後にバッグを広げて、みんなで記念写真を撮りました。様々な素敵な柄のエコバッグの出来上がりです。子供達は暑さの中でも元気一杯で頑張ってくれました。

たくさんの玉ねぎの皮を下さった給食センターさん、お家で古くなったお茶の葉を持ってきてくださったみなさんありがとうございました。とても濃い染液を作ることができました。今回は事務局の方があらかじめポットにお湯を沸かして持ってきてくださったので、煮出しも早くできました。ありがとうございます。暑い中、元気に染色してくれた子供達、お手伝いくださった保護者の方ありがとうございます。また、来年も染色教室で会いましょう。



令和元年7月の活動報告

夏の里山活動体験(7月28日・日曜日)

7月28日(日)夏の里山活動体験を行いました。

参加者はこども22人、保護者12人、スタッフ7人計41人でした。

午前中は2班に分かれて昆虫観察と調理を交代で行いました。

昆虫観察はベースキャンプ下の柿畑でいくつか昆虫を集めて、気に入ったものを一つ野帳にスケッチしました。カマキリ、シロスジカミキリ、コクワガタ、オンブバッタなどにヌマガエルやカタツムリなど前日の雨の影響か湿気の好きなものたちが見つかりました。

調理は、ホットドックと野菜スープづくり。ホットドックはそれぞれがレタス、チーズ、ソーセージをはさみましたが、なぜかレタスがたくさん余りました。みんな野菜食べようよ。野菜スープは機転を利かせて早めにお椀に取り分けて並べてくれたので、暑い中、すこし冷めてたスープが飲みやすく5杯おかわりした子もいたようです。

午後からは、元気プロジェクトの中村さんの里山学習。昔と今の航空写真を見ながらその場所を歩いて、人の手が入ることで生き物が色々増えることを教えてもらいました。

最後は梅谷の大きなスイカを食べて暑気払い。一緒に元気プロジェクトの方が育てたブルーベリーやミニトマトもいただきました。

また、合間にせみの抜け殻調査も行い、例年通りたくさんのアブラゼミに加えニイニイゼミとヒグラシの抜け殻を見つけました。



令和元年7月の活動報告

緑のカーテン収穫祭(7月24日・水曜日)

7月24日(水) 積水ハウスのみどりのカーテン収穫祭が行われました。

参加者はこども 13 人、保護者 3 人、スタッフ 7 人でした。はじめに樹木医のはたあきひろさんからお話をしてもらって、本当にみどりのカーテンが涼しいかカーテンの内外で温度の測定を行いました。晴れた日差しの中、10度を超える違いが出ていました。その後はお楽しみの収穫祭。たくさんのゴーヤにミニメロンを収穫しました。こどもたちは袋いっぱいのゴーヤやメロンを重そうに抱えて帰りました。見学させてもらったゴーヤのトンネルや枝を寄せて作った生きたあずまやは目にも涼しく、植物のありがたさを実感させてもらいました。



令和元年6月の活動報告

川の生きもの調査(6月2日・日曜日)

6月2日(日)水の生き物観察と水質調査を行いました。

参加者はこども8人、保護者4人、スタッフ6人と中嶋先生でした。

まずは旧鹿背山分校から活動場所まで山道を気になった生き物の写真を取りながら歩きました。

モグラの死骸を見つけたり、まだつぼみのササユリの花を見つけたりしました。

全国一斉水質調査参加企画の中切川でのCOD測定は今年はこどもたちみんなで行いました。ちょっと時間がかかったけど、COD値は2できれいな値でした。池や川での水生生物の観察ではたくさんのヌマエビやサワガニを見つけることができましたが、今年はヤゴの姿が少なかったです。曇っているせいもあるけれどトンボの姿もいつもより少なかったです。春先の水温の低い状態が影響しているのでしょうか。

市役所に帰ってから、撮った写真でこしの生き物地図づくりもがんばってしました。



令和元年5月の活動報告

茶摘み・緑茶作り・発足式(5月12日・日曜日)

5月12日(日)、お茶つみ・緑茶づくりと発足式を行いました。
午前中はお茶つみと緑茶づくり。参加者はこども15人、保護者6人、スタッフ9人でした。

4月に気温が低く生長が遅めだったため、新芽はまさにつみ取りのベストタイム。
チャドクガの幼虫も現れず、やわらかな茶葉をたくさんつむことができました。緑茶は、昨年同様電子レンジで蒸して、その後ホットプレートで温め手でもむことを繰り返し1時間ほどでほどよく乾燥できました。出来立ての緑茶は柿ようかんや昨年栽培したアズキのケーキとともに楽しみました。部屋いっぱいにお茶の香りが広がり、うまみのあるお茶ができました。

午後からの発足式には、市長さんにもあいさつを頂き今年度のエコクラブがスタートしました。参加者はこども17人、保護者4人、スタッフ9人でした。今年も様々なイベントを通して自然や環境のこと楽しく考えていきましょう。



平成31年4月の活動報告

美味しく楽しい！みどりのカーテンづくり(4月27日・土曜日)

積水ハウス「納得工房すまい塾」で今年もみどりのカーテンづくりを行いました。参加者はこども 12 人、保護者 2 人、スタッフ 8 人でした。まず、ガーデニング研究家のはたあきひろさんからみどりのカーテンが部屋を涼しくするしくみをわかりやすくお話してもらいました。

その後レストラン「あわさい」の外にゴーヤやミニメロン、アサガオなどのつる植物の苗を植えました。植えつけの後は大人とこどもに分かれて納得工房の見学をさせてもらいました。環境に配慮した住宅素材がどんどん開発されていることを知ることができました。植え付け後、ちょうど雨が降りお天気もみどりのカーテンを応援してくれているようでした。

